

一般質問

A

一人暮らし高齢者の現状および支援体制について伺う。

Q

■一人暮らし高齢者支援について



佐々木精市 議員

A

令和4年度から2年間で、地域内で話し合いを重ね、農地ごとの耕作者や農地利用の在り方を示した計画を策定することとしている。このことは農地をどのように守るかについての重要な要素であることから、市は花巻農業協同組合など農業関係者とともにこの話し合いを全面的に支援していく。

Q

■疾病予防事業について



菅原 ゆかり 議員



A

令和4年3月に策定した「第3次健康はなまき21プラン」に基づき、疾病予防を含む健 康づくり事業が展開されている。健康教室など市民全體に健康に関する知識の普及啓発に努める一方、健康障害を起こすリスクの高い市民に対しても生活習慣の変容を促す保健指導等に取り組んでいる。

Q

県では、犯罪被害者等施策に関する条例を制定していないが、市として今後、条例を制定する考えはないか伺う。



羽山るみ子 議員



A

各自治体で格差や違 いがあつてはならないため、県単位あるいは広域的に同一の支援が望ましいことから、県と市町村の役割分担や求められる支援内容等について県の条例の内 容を確認した上で、市独自の施策としてできることがあるかを含め検討し、近隣市町村の動向も注視していく。

Q

視覚障がいのある方々に有効であると考えられる導入済みの自治体の活用状況等を参考にし、視覚障がいのある方々から意見を伺いながら、早急に導入について検討していく。

A

※音声コード「Univoice」スマートで二次元コードを読み取ることで、印刷物の内容を音声で聴くことができるアプリ

A

重要な計画等の策定などの際に市民が自らの意志で意見表明できる機会を保障するため、ガイドラインで運用していくものを条例化するもの。市政の意見を聞くことを基本原則とすることを明確にしたい。なお、素案の段階からの市民参

Q

等、様々な意見が出ていることから今後検討していきたい。

A

学童クラブの利用実績は、令和5年度市内3人に対し、学童クラブ利用者は1270人で利用率は30.9%であり、3年前に比べ5%ほど増加している。今後も利用者は増える見込みであるが、令和7年度にピーカクを迎える。今後も利用者は増える見込みであるが、現在の利用数と同程度になると見込んでいく。

Q

等、様々な意見が出ていることから今後検討していきたい。

はなまき市議会だより 花の風 No.76 令和5年8月1日



もとだて 本館 憲一 議員

Q

■ホットタウン湯口について



A

市所有分の土地を宅地として整備した場合、上水道や道路等の整備に多大な費用がかかりと試算しております。住宅地の市況や場所などの条件を考えた場合、売却することは困難であるとの意見を住宅事業者から聞いている。現時点においては民間事業者が住宅地として開発する動きは見当たらず、市独自に整備を行うことも困難であると考えている。

A

市では、スポーツツーリズムの推進について、はなまきスポーツコンベンションビューローと連携し、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿の誘致などを実施している。今後も継続していきたが、市民の施設利用を優先し、平日の誘致を進めていきたいと考えている。

A

ソフトボーラー協会との懇談や好地地区市政懇談会で施設の修繕等を希望する箇所が多数出されたことから、計画的な改修や修繕に努めたいと考えている。また、もう少し広い地域の意見を聞くことについて、今後検討していくことないと考えている。

Q

■市民参画条例について



にたな 似内 一弘 議員

等、様々な意見が出ていることから今後検討していきたい。

Q

■学童クラブについて



A

学童クラブの現在の利用実績および今後の方針について、市民の意識を醸成を図るとともに、市民が素案の段階から関わる仕組みを文化する等、条例化に向けてさらに検討すべきと考えるが見解を伺う。

はなまき市議会だより 花の風 No.76 令和5年8月1日